

第45回 独立行政法人都市再生機構 契約監視委員会
審議概要

開催日	令和2年8月31日（月）～9月4日（金）
開催場所	持ち回り開催
出席委員	<p>長沢 美智子（弁護士（東京丸の内法律事務所）） 高木 勇三（公認会計士（監査法人五大）） 長村 彌角（公認会計士（有限責任監査法人トーマツ）） 鈴木 豊（学校法人青山学院常任監事・青山学院大学名誉教授） 飛松 純一（弁護士（外苑法律事務所）） 水上 貴央（弁護士（Socio Forward株式会社）） 吉田 滋（都市再生機構監事） 上澤 秀仁（都市再生機構監事）</p>
審議事項等	<p>審議事項 令和2年度第1四半期における競争性のない随意契約及び1者応札・1者応募となった契約について 報告事項 調達における新型コロナウイルス感染症に対する対応について</p>
審議概要等	<p>別紙のとおり なお、意見・質問欄には各委員からの発言要旨を記載しており、委員会としての意見等を記載しているものではない。</p>

(別紙)

意見・質問	説明・回答
<p>審議事項 令和2年度第1四半期における競争性のない随意契約及び1者応札・1者応募となった契約について</p> <p>○マスク及び端末の調達に随意契約の根拠は。</p> <p>○会計規程に定める「緊急性」に関する定義または整理内容を明文化したものがあるのか。</p> <p>○会計規程と本社からの指示という、2段階で統制しているということか。</p> <p>○調査検討業務や計画推進業務で1者応札が改善した要因は何か。</p> <p>○複数応札に改善したものがまた1者応札に戻らないかも見えていかなければならない。</p>	<p>・令和2年度第1四半期における競争性のない随意契約及び1者応札・1者応募となった契約実績について、前年同期に比しての契約実績額及び1者応札・1者応募の件数の変動要因となっている複数年契約の状況等について説明。</p> <p>・令和2年度第1四半期の契約のうち、前回1者応札であった契約がどれくらい複数者応札に改善したのかを説明。</p> <p>・緊急によるもの。職員等の健康、在宅勤務促進による密の防止、業務の継続のため。</p> <p>・緊急内容を具体的に明文化しているわけではないが、国等に倣ってこの事態に対応した運用を支社等に指示している。</p> <p>・そのとおり</p> <p>・過去の参加業者や業界団体への声掛けに加え、過去の同種業務の成果物を公開することにより、業者が参加可能と判断したことによるものと思料。</p> <p>・注視していく。</p>

意見・質問	説明・回答
報告事項 調達における新型コロナウイルス感染症に対する対応について	・現時点の調達における新型コロナウイルス感染症に対する対応状況について説

意見・質問	説明・回答
<p>○今のところ、新型コロナウイルスによる調達等合理化計画への影響が顕在化していないということか。</p> <p>○影響があったと説明するには因果関係について詳細な分析が必要であろう。</p> <p>○経済へのダメージは今後もっと深刻になる可能性がある。</p> <p>○今後もこの状況が続けば、臨機応変に工夫しながら対応していかなければならないかもしれない。</p>	<p>明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のところはそのとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・状況を注視していく。